

平成26年9月29日

山武市長 椎名千収様

成東駅南側周辺まちづくり協議会

成東駅南側周辺まちづくりに関する提言

成東駅南側の駅前広場及び駅前線の整備に併せ、魅力と賑わいにあふれ、快適と感じられる駅周辺の街並みの創出を目指すため平成24年10月に創設された〈成東駅南側周辺まちづくり協議会〉も3年目の活動に入りました。

平成24年度は、山武（成東）の歴史、文化、風土、生活に対する誇りをまちづくりの理念（テーマ）として「**ホッと**  **さんむ** ふるさと九十九里の玄関」を、平成25年度は、このテーマを基に駅前地区の街並み景観を創出するためのルールを協議し「成東駅南側周辺地区 街並み景観形成の配慮事項」を提言しました。

また、平成25年度から平成26年8月末にかけて、市が行う成東駅前広場の設計にあわせて、まちづくりのテーマを盛り込んだ空間デザインを提案するため「成東駅前広場空間デザインコンペ」を開催し、千葉大学の植田憲教授と、コンペに応募された大学院生、学生の皆さんの協力を得て、コンペで提案されたストリートファニチャーをより具体的で実現性の高いデザインへ進展させるための検討を行ってきました。

この度、その成果として「**成東駅前広場デザイン検討(案)**」を提言書に取り纏めましたので提言いたします。

つきましては、市におかれましても、この提言を踏まえた事業の実現に努められますよう要望いたします。

第3回 成東駅南側周辺 まちづくりに関する提言

～成東駅前広場デザイン検討(案)～
(平成26年度第1回提言)

目 次

第1章 はじめに・・・・・・・・・・ 1

第2章 提言・・・・・・・・・・ 3

参考資料

コンペ関連資料・・・・・・・・・・ 13

コンペ後に提案者が共同製作した模型 ・・・・ 28

平成26年8月

成東駅南側周辺まちづくり協議会

目次

第1章 はじめに	1
1. 成東駅南側まちづくり協議会の構成	1
2. 協議会検討経緯	1
第2章 提言(成東駅前広場デザイン検討(案))	3
1. 成東駅前広場デザイン検討(案)の必要性	3
2. 計画の対象範囲と前提条件	3
3. 駅前広場のデザイン基本方針	4
4. 駅前広場デザイン案	5
5. その他	11
6. 謝辞	12
参考資料	13
1. コンペ関連資料	13
2. コンペ後に提案者が共同製作した模型	28

第1章 はじめに

成東駅南側周辺まちづくり協議会は、市が行う成東駅前広場の設計にあわせて、まちづくりのテーマを盛り込んだ空間デザインを提案するため「成東駅前広場空間デザインコンペ」を開催し、千葉大学の植田憲教授と、コンペに応募された大学院生、学生の皆さんの協力を得て、コンペで提案されたストリートファニチャーをより具体的で実現性の高いデザインへ進展させるための検討を行ってきました。

この度、その成果として「成東駅前広場デザイン検討(案)」を提言書に取り纏めましたので提言いたします。

つきましては、市におかれましても、この提言を踏まえた事業の実現に努められますよう要望いたします。

1. 成東駅南側まちづくり協議会の構成

成東駅南側まちづくり協議会は、まちづくりを考える一般市民、地権者及び関係権利者、地元区長、観光協会、商工会及び千葉大学教授等の有識者から構成されております。

当協議会は、原則として、市民全員を会員として考えており、協議会に常時参加していただく常任会員と、適宜、議論をサポートしていただく一般会員から成り立っています。

会議は原則公開とし、成東駅周辺の将来を考えている方ならどなたでも参加できる組織としております。

2. 協議会検討経緯

「駅前広場のデザイン検討案」については、平成25年度 第3回協議会から検討をはじめ、平成26年度 第2回協議会でとりまとめを行いました。

<検討経緯>

回 数		議 題
平成25年度	第1回 (平成25年5月19日)	● 今度の活動目標と予定 ● 駅周辺の街なみイメージに関する意見交換
	第2回 (平成25年7月2日)	● まちあるき ● 成東駅周辺地区の景観特性に関する意見交換
	第3回 (平成25年9月29日)	● 街並み景観形成の目標・区域・配慮事項に関する検討 ● 成東駅前広場空間デザインコンペの進め方についての報告
	第4回 (平成25年10月27日)	● 成東駅前広場空間デザインコンペの実施経緯の報告 ● 成東駅前広場空間デザインコンペの審査 ● 街並み景観形成の配慮事項の修正案の報告及び意見交換

回 数		議 題
平成 25 年 度	第 5 回 (平成 25 年 12 月 8 日)	● 駅前広場のデザイン検討スケジュールの報告 ● 駅前広場のデザイン方向性(駅前広場のデザイン基本方針・各ストリートファニチャーのデザイン方針等)についての検討
	第 6 回 (平成 26 年 3 月 16 日)	● 駅前広場のデザイン検討 ● 街並み景観形成の配慮事項についての確認
平成 26 年 度	第 1 回 (平成 25 年 6 月 22 日)	● 今年度の活動目標と予定について ● 駅前広場のデザイン 修正案について
	第 2 回 (平成 26 年 8 月 31 日)	● 駅前広場のデザイン 最終案について

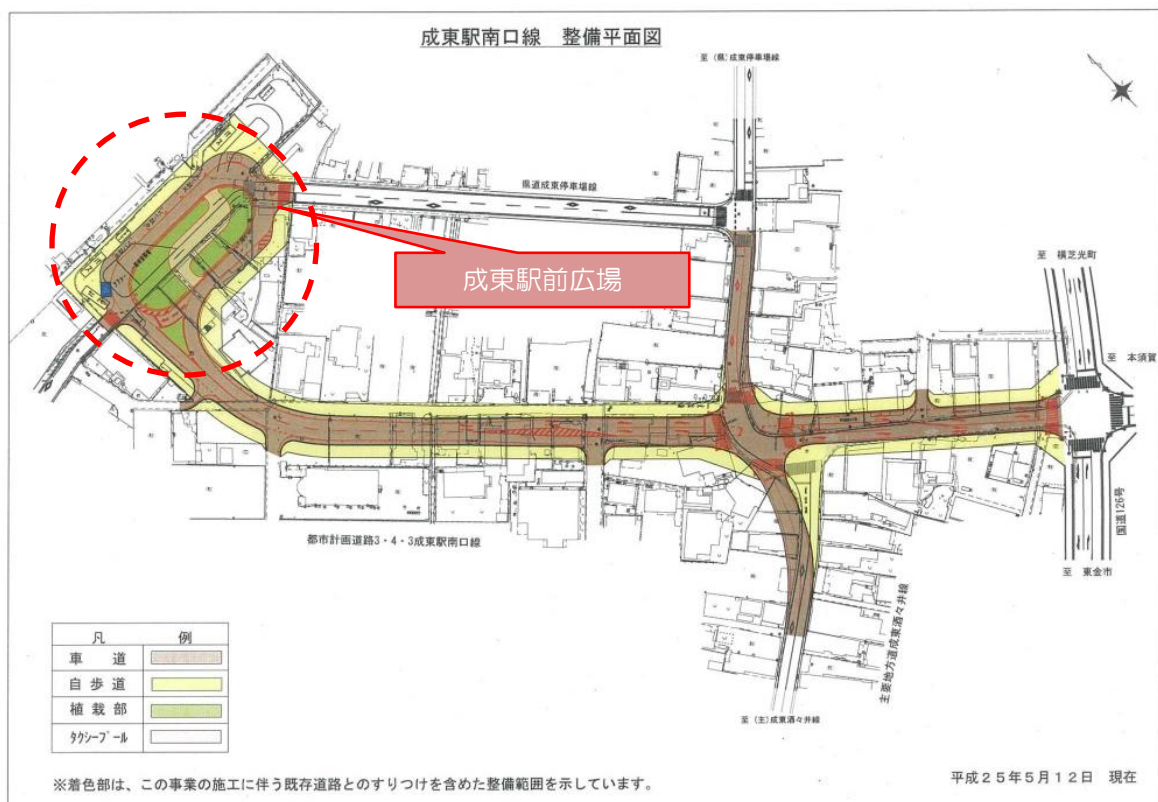
第2章 提言(成東駅前広場デザイン検討(案))

1. 成東駅前広場デザイン検討(案)の必要性

- ・ 成東駅南側周辺地区では、成東駅前広場や成東駅南口線の整備の実施に伴い、建替え等による新たな街並み景観が形成されることになることから、協議会は平成26年3月に、九十九里の玄関口にふさわしい駅前地区の街並み景観を創出することを目的とした「成東駅南側周辺地区 街並み景観形成の配慮事項（以後、「配慮事項」と言う。）」を山武市に提案したところです。
- ・ 駅前広場整備にあたっては、市が行う駅前広場の設計にあわせて、「ふるさと九十九里の玄関口」にふさわしい空間デザインを取り入れ、新たな街並み景観の形成に寄与する整備を行うことが必要です。

2. 計画の対象範囲と前提条件

- ・ 本計画の対象範囲は、成東駅前広場とします。
- ・ 駅前広場の位置や面積、車道、歩道の構成などの基礎的な条件は市が行う駅前広場の設計に準ずるものとし、協議会はストリートファニチャーや舗装材の種類などのデザインを提案します。
- ・ なお、駅前広場と国道126号を結ぶため、今後整備が予定されている成東駅南口線は千葉県が整備主体となるため、本検討による最終成果が成東駅南口線へも反映されるよう、市と連携した整備を要望いたします。



3. 駅前広場のデザイン基本方針

- ・ 協議会は、平成 24 年度に検討したまちづくりテーマ「ホッと さんむ 〜ふるさと九十九里の玄関〜」に即した街並み景観と調和のとれた駅前広場のデザインを検討するに当たり、「駅前広場のデザイン基本方針」を定めました。



ふるさと九十九里の玄関

実現のための駅前広場のデザイン基本方針

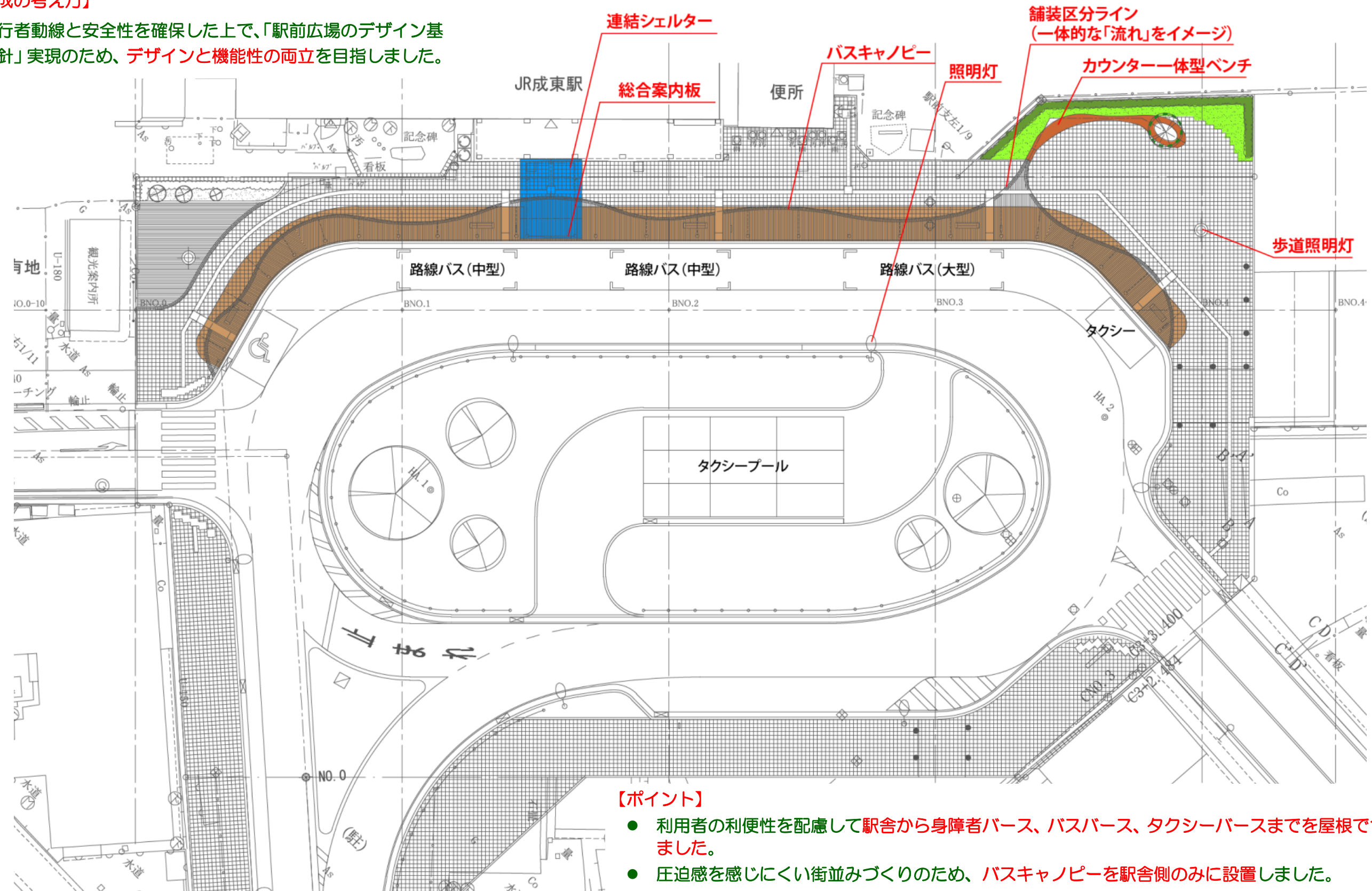
- ・ **緩やかな曲線**を用いたデザインとする。
- ・ 山武杉等の**地域資源を活用**する。（広場内の調和を図るため、部分使用も可とする）
- ・ 組子細工や砂浜など**デザインのアクセント**として活用する。
- ・ 樹木や地被類など**緑を取り入れた配置**とする。
- ・ 高さなどの面で**目障りにならないデザイン**とする。

4. 駅前広場デザイン案

(ア) 駅前広場配置計画案（バスキャノピー、連結シェルター、カウンター一体型ベンチの位置）

【案作成の考え方】

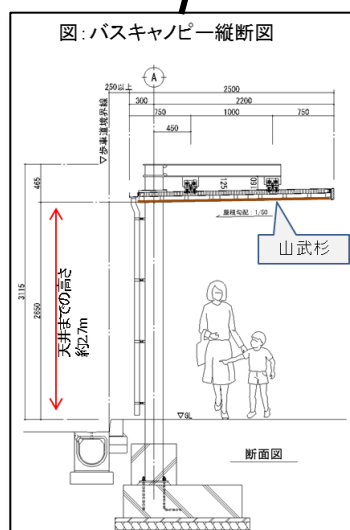
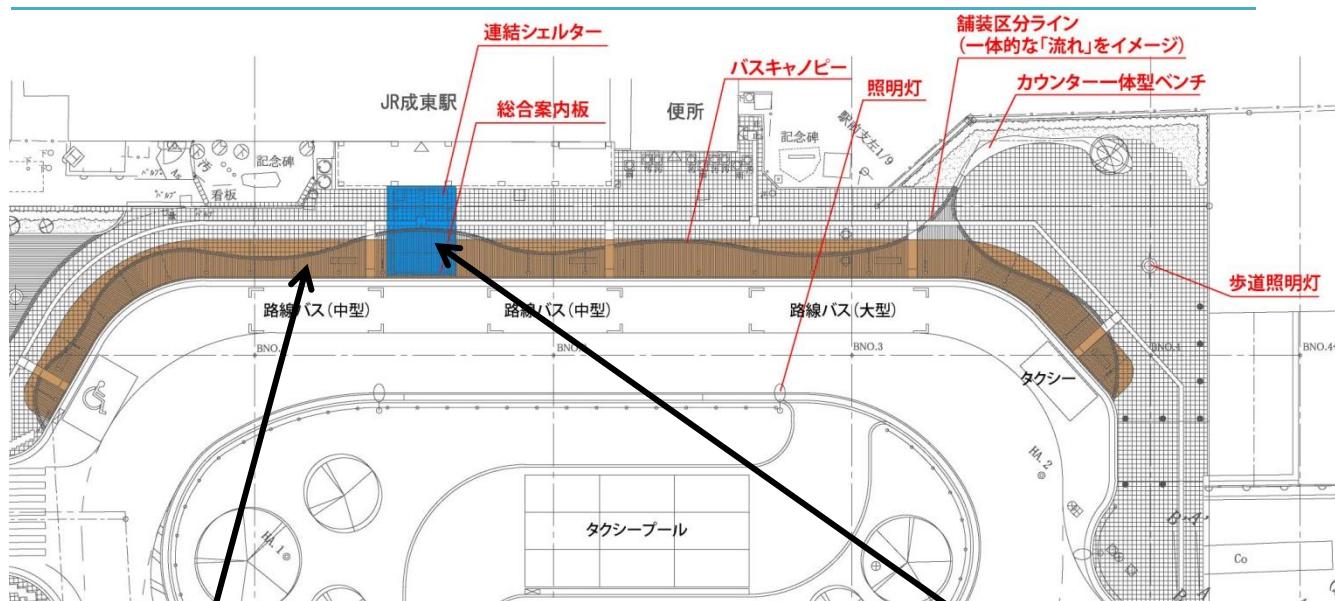
歩行者動線と安全性を確保した上で、「駅前広場のデザイン基本方針」実現のため、デザインと機能性の両立を目指しました。



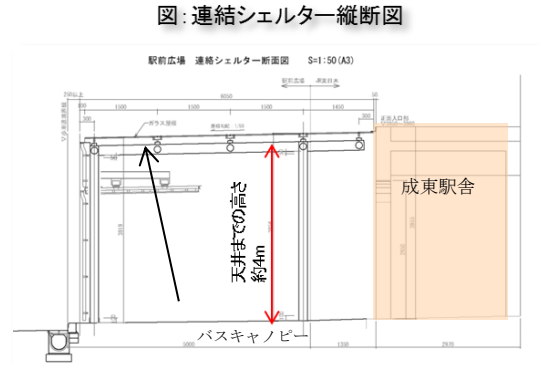
【ポイント】

- 利用者の利便性を配慮して駅舎から身障者バス、バスバス、タクシーバスまでを屋根でつなぎました。
- 圧迫感を感じにくい街並みづくりのため、バスキャノピーを駅舎側のみに設置しました。
- 交通空間を確保するため、カウンター一体型ベンチを道路用地外に配置しました。

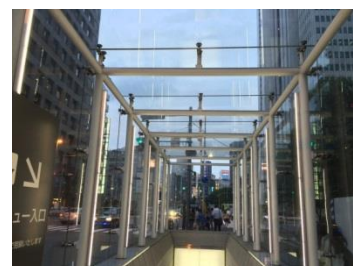
(イ)バスキャノピー



木を使ったバスキャノピーの例（宮崎県日向市駅）



例：連結シェルターのイメージ
(空の広がりを感じる例)



●安全面の配慮について

- 歩行者動線の確保と、安全性確保の観点から、デザインコンペで提案がなされた**バスキャノピーとカウンター・ベンチの一体整備は見送り**、舗装材の模様で**一体性を演出**することを要望します。

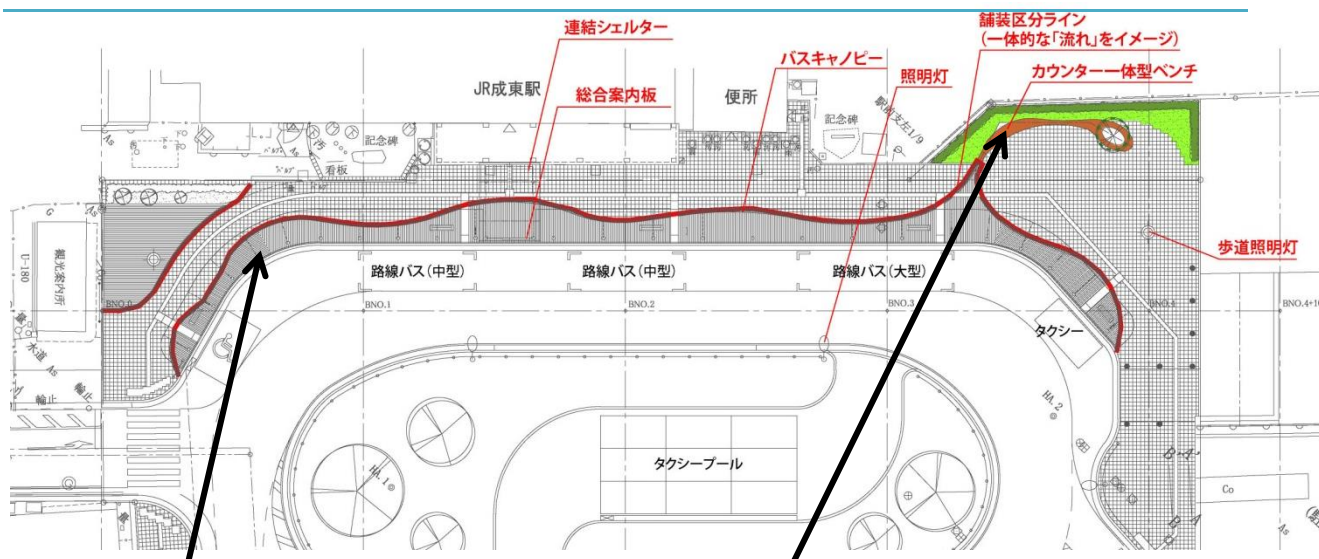
●利用者への配慮について

- 駅を出て濡れずに身障者用乗降場・タクシー乗降場を利用できるよう、**バスキャノピーと駅舎をつなぐ「連結シェルター」の設置**を要望します。

●素材について

- 素材の良さ**を活かすことを要望します。
- バスキャノピーの**天井材に山武杉の板**を使用することを要望します。
- 支柱は金属製**のものを使用し、**山武杉の天井が強調されるデザイン演出**とすることを要望します。

(ウ) 舗装材、カウンター型ベンチ

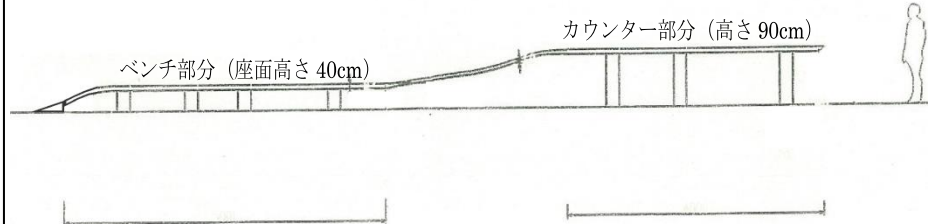


グレー系
(キャノピーの内側)

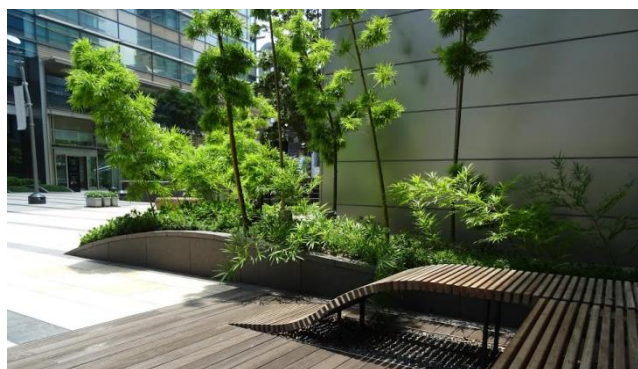


ベージュ系
(キャノピーの外側)

図：カウンター型ベンチの立面イメージ



参考図：床からの一体的な流れを表現した
ベンチの例 (六本木：東京ミッドタウン)



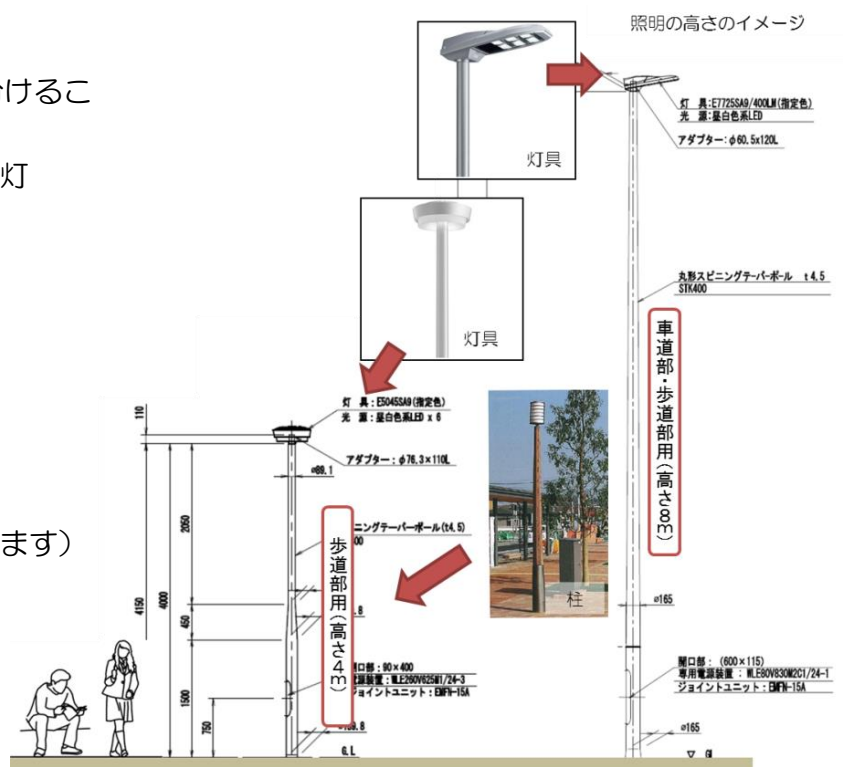
- ・舗装材の色、サイズを組み合わせることにより、緩やかな曲線を表現することを要望します。
- ・舗装材の曲線につなげてカウンター型ベンチを設置することにより、一体的な流れを表現し、**人の流れを誘導**することを要望します。
- ・カウンター型ベンチの座面などの**天板部分は、バスキャノピーとのバランスを考えて木製とすることを要望**しますが、雨ざらしになることから、耐久性や排水性への配慮を要望します。
また、カウンター型ベンチの背後は人の出入りがしにくいことと、金網フェンスで殺風景となることを避けるため、**樹木や地被類を配置して潤いを演出**することを要望します。

(工)照明、車止め、ガードパイプ

照明について

役割ごとに **3種類**の照明を使い分けることを要望します。

1. **車道部と歩道部を照らす**照明灯
 2. **歩道部を照らす**照明灯
 3. バスキャノピーの**間接照明**
- 日中はあまり目立たないよう、**出っ張りが少なく、色彩面で調和**したシンプルなものを採用することを要望します。
(歩道部用の柱は山武杉の活用**可否を検討**いただくことを要望します)
 - 灯具はLED を要望します。



車止め、ガードパイプの基準について

- 横断防止のため設置するガードパイプは、安全性を確保するため、**歩行者が寄りかかったり腰掛けても変形・破損しない強度**が求められます。
- 木製のものも市販されていますが、強度を確保するため、太くなりがちです。
- 照明と同様に、**周辺の風景を遮らないよう、透過性が高く、色彩面で調和したシンプルなもの**を採用することを要望します。



木製の車止め

バスシェルの柱と色を合わせたガードパイプの例（押上駅）



(オ)案内板

観光案内所前に案内板を設置

- 観光案内所と一体的に設置することを要望します。（観光案内所の位置は市側で現在調整中）



駅前広場には総合案内板等を設置

- 駅前広場内には木製化粧支柱を使用した総合案内板、バスの時刻表示板等の設置を要望します。



(カ)ベンチ

市民参加による維持管理の仕組みを市側で継続検討

- 市側で、広場整備までの間に、市民の協力による設置・維持管理・定期的な更新ができるよう、市民オーナー制度の創設を継続検討することを要望します。
- 森林組合や関係機関の協力を呼びかけていただくことを要望します。

(キ)樹木

既存の樹木を含めてトータル的な樹種選定

- 以前に総武本線 100 周年を記念して設置したヤマモモの木は今後もシンボルツリーとして設置することを要望します。
- その他に駅前広場全体のバランスを考えて、今後数本の樹種選定がなされることを要望します。



ヤマモモの木



様々な樹木のイメージ



(ク)交通島

周辺の街並みやシンボルツリーが映えるよう配慮

- ・駅を出て広がる街並み空間を演出するため、シンボルツリーの他は、花と緑をしつらえ、若干の低木を配置したシンプルな交通島とすることを要望します。

5. その他

駅前広場デザイン案の検討を進める中で、以下の意見がありました。

風除けの設置

- ・身障者用の乗降スペースなどで、風除けを設置していただきたいという意見があり、協議会で議論を行いました。その結果、当面は風よけは作らず、整備後の駅前広場の利用状況、あるいは降雨時の状況を鑑みて、必要に応じて設置することを要望します。

安全で安心して駅前を利用できるための対策

- ・安全で安心して駅前を利用できるようにするため、交番の設置や移動交番の駐留などが必要だという意見があり、協議会で議論を行いました。その結果、実現可能な方法を用いて、駅やその周辺で安全確保対策を講じることを要望します。

一般車両の一時停車スペースの確保

- ・送迎のための自動車が安全に利用できるよう、駅前広場の周辺で一時待機場所の設置を行っていただきたいという意見があり、協議会で議論を行いました。その結果、以下の意見がありました。

- ✓ 駅前広場内で一般車の送迎待ちができるようにならないと、使いづらいという意見がありました。
- ✓ 周辺に一般車の送迎待ちスペースを設けても台数が足りないのは問題だと思うという意見がありました。
- ✓ 整備後はバス乗降場で一般車が送迎を行う可能性が高くなると思うという意見がありました。
- ✓ 交通島に植樹等を行わず、自動車の一時停車ができるようにしてはどうかという意見がありました。
- ✓ 人口減少や高齢化が進むなかで、現在と同規模の駐車場を作る必要があるのか、将来の姿を見て取り組んでいきたいという意見がありました。
- ✓ その他の意見として、県道部分（成東駅南口線）で計画している横断歩道の箇所が少なく、利便性が低いため設置を要望したいという意見がありました。

駅前広場内での喫煙の可否やゴミ箱設置の検討

- ・駅前広場を整備するにあたり、カウンター一体型ベンチ周辺をはじめとした駅前広場内での喫煙の可否やゴミ箱の設置など、運用面の検討を行っていただきたいという意見がありました。

6. 謝 辞

- ・本計画の策定に際して、様々なご指導を頂きました千葉大学工学研究科デザイン工科学専攻 デザイン文化計画研究室 植田 憲教授に深謝いたします。
- ・コンペへの参加の他、デザインの進展作業を快く引き受けてくださり、改めて協議会で提案を行って戴いた、千葉大学大学院工学研究科の、張 曉静（チョウ キョウセイ）さん、金 主榮（カミ シュヨウ）さん、張 夏（チョウ カ）さん、路 鵬（ロ ホウ）さん、千葉大学工学部都市環境システム学科の高橋 咲さんに感謝いたします。

参考資料

1. コンペ関連資料

(ア)コンペ実施要領

山武市成東駅前整備にともなう、駅周辺を元気づけるためのコンペを、下記の要領で実施します。あなたのデザインが実現します。個人で、グループで、多数の応募を期待します。

成東駅前広場空間デザインコンペ要領

テーマ：「ほっと」する、舞台装置としてのストリート・ファニチャー

趣旨：

日本中の駅前はどこも似たようなデザインで、広場と言うものの、実質的には交通機関利用者の動線を処理するだけの場となっていて、とても魅力ある広場とはいえません。

駅や交通機関を利用する人たちには、通勤・通学する人、旅立つ人もいれば帰郷する人もいます。一刻も早く通り過ぎたい人もいれば、しばしの余韻を楽しむ人たちがいます。また、観光客にとっては、未知の場所と初めて遭遇する場でもあり、第一印象を与える場ともなります。

多数の駅利用者がそれぞれの思いを抱きながら往き来する駅前広場は、人との出会いの場であり、魅力的な空間演出があって欲しい場です。

山武市の顔ともいえる成東駅前広場の拡張計画が現在進行中です。そして成東駅南側周辺まちづくり協議会が組織され、駅周辺を「ほっと さんむ——九十九里の玄関」という基本コンセプトで構成していくことが決定されました。ここには住民にとっては、遊園地やテーマ・パークのような派手なものではなく、市民にとっては安心できる場所、観光客にとっても生まれ故郷に帰ってきたように、心からホッとできるような場所にしたいという願いが込められています。

この基本コンセプトを受けて、現在、具体的な設計作業が進んでおり、バスやタクシーなどの公共交通機関の動線に沿った道路計画がほぼ出来上がっています。

しかし、魅力的な駅前広場にするためには、機能だけではなく空間演出も大切です。そのためのツールがストリート・ファニチャーです。また、ストリート・ファニチャーは重要な景観構成要素となることにも十分に留意してください。

駅前広場を劇場空間と見立て、そこを行き交う人々は役者。新しい物語が始まるような魅力的な舞台装置としての、実現可能なストリート・ファニチャーの提案がテーマです。

具体的にはベンチ、街灯、時計台、案内板、バス停のキャノピー、車止めなどがありますが、基本コンセプト実現のために必要だと思われる場合には、歩道表面、交通島（タクシー・プールを兼ねた駅前広場中央部の楕円形の部分）なども含め、トータルな環境提案をしてください。なお、単体の提案も可とします。

現地説明会以外での質疑応答は致しません。この要領に記されていない事柄については、応募者の自由裁量を可とします。

応募希望者は、まず下記の事務局にメールで参加意思表示をしてください。

その後、事務局の指示に従って応募登録用紙等をダウンロードし、応募票には必要事項を記入の上、応募作品の背面に添付してください。

なお、応募作品表面に応募者の氏名が特定できるような表記は一切禁じます。これに反した場合は失格とします。

■参加要領：

1. 応募資格：
大学生及び大学院生
2. 応募方法：
下記登録先にメールにて参加意思表示（住所、氏名、大学名、学年、学科学部、連絡先）をしてください。
3. 登録先：
山武市都市建設部都市整備課
メールアドレス：toshiseibi@city.sammu.lg.jp
4. 応募登録締切：
2013年9月30日

（参考）

山武市ホームページ「成東駅前広場空間演出デザインコンペについて」
<http://www.city.sammu.lg.jp/soshiki/17/minami-top12.html>

■作品の提出：

1. 提出物：以下のすべて
 - 1) 設計図（縮尺自由）およびスケッチ
 - 2) 模型（縮尺 1/10 程度）
 - 3) 敷地図（周辺を含む）に、デザインしたストリート・ファニチャーをレイアウトすること。
 - 4) 全体のイメージパース
 - 5) 説明文
2. 提出先：
山武市都市建設部都市整備課
〒289-1392 千葉県山武市殿台 296 番地
3. 提出物締切：
2013年9月30日消印有効（持参の場合は同日 16 時まで）

■現地説明会：（終了）

2013年8月5日（月） 13時より
山武市役所（千葉県山武市殿台 296 番地）にて

■賞：

最優秀賞 1点 賞状および賞金 5万円
優秀賞 若干名 賞状および賞金総額 5万円

■審査員：

成東駅南側周辺まちづくり協議会

■テクニカルアドバイザー：

植田 憲（千葉大学工学部デザイン科学教授）
佐藤 公信（千葉大学工学部デザイン科学教授）

■トータルコーディネーター：

中谷 正人（千葉大学工学部都市環境システム学科
客員教授）

■結果発表：

2013年10月27日に予定されている審査会終了後、
応募者各自に直接連絡します。

■その他：

応募希望者は現地説明会に参加することはもとより、自身で山武市全体および成東駅周辺の調査および空間の実体験が必要とされます。
入選作品が実際に採用される場合には、素材、技術等の理由により、デザインを変更することもあり得ます。
応募案の著作権は応募者に帰属しますが、工業化優先交渉権および発表、出版に関わる諸権利は主催者に帰属します。
二重応募、他者の著作権を侵害する応募案は失格とします。
事後に発覚した場合においても同様とします。

■主催：成東駅南側周辺まちづくり協議会
後援：山武市

■事務局・問合せ先：

（基本的にはメールでお願いします）
山武市 都市建設部 都市整備課
メールアドレス toshiseibi@city.sammu.lg.jp
ホーム <http://www.city.sammu.lg.jp/soshiki/17/>

(イ)作品応募状況

氏名	所属	学年	提出作品
張 曉静 (チョウ キョウセイ) さん 金 主榮 (カネ シュヨウ) さん 張 夏 (チョウ カ) さん 路 鵬 (ロ ホウ) さん	千葉大学大学院 工学研究科 デザイン科学専攻 デザイン文化計画研究室	修士1年生	「海と田んぼと山の駅」
高橋 咲さん	千葉大学 工学部 都市環境システム学科	3年生	「杉とリビングと」

【イメージパース】



「海と田んぼと山の駅：成東」構成イメージ



【平面図】



【説明文】

成東駅前広場空間デザインコンペ(説明文)

「海と田んぼと山の駅」

千葉大学大学院 工学研究科 デザイン科学専攻
デザイン文化計画研究室

デザイン提案の背景

8月に行った山武市「成東駅周辺地域サーベイ」を行いました。

そこで発見した一つ目のことは、「**地域に多くの宝がある**」ということです。山武市は山と平地、そして海岸と一緒に含んでいる地域であって、多様な自然の様子を見ることができます。そして、そのような地域の各ところから数多くの自然資源を発見することができました。—— また、山武市には歴史的な価値を持った文化財も存在しており、日本の有名な小説家である「伊藤左千夫」などの人的資源も存在していました。このような自然、歴史、人的資源だけではなく、地域の人々い触れ合いながら、地域を考える住民たちの思い、そして活動など、様々な地域の良さを発見することができました。

サーベイを通して発見したもう一つのことは、成東駅は、「**海と平地と山の文化が接してきた中心地**」であったということです。成東駅前の商家町並みを調査する中で、成東駅は昔、この地域の山武杉などの木材を流通した窓口であったということ、また、平地の様々なところから取られた野菜や地域の特産物が集まる場所であったということ、そして昔の漁師たちが九十九里の海岸から取った魚を背負い、駅まで歩いてきて友人たちと飲み会を持ったという、色んな話を聞きました。このようなことから、成東駅は昔から、海のもの、田んぼのもの、山のものが入ってきたところであり、それに従って自然に各ところの文化も流入され、融合されたところであることが分かりました。現在、駅周辺のあるそば屋さんで使われているテーブルが、昔船の材料として使われていた木の廃材であることが、その一つの痕跡でもあります。

デザインのコンセプト

駅を訪ねる人々に「ホット」した印象を与えるため、以下のことを考えました。

- 自然と近い材料を利用する
- 地域のもの、地域の資源を利用する

そして、さらに地域が活性化されるため、以下のことを考えました。

- 地域の良さが分かりやすい空間をデザインする
- 地域の住民が交流でき、地域の様々な活動の参加できるような空間をデザインする

デザイン提案

1. 駅前空間

- **駅の床のタイルブロック**

山武杉をブロックにして、駅の床とする。木の材質から自然の暖かさを表す。

- **組子のアート**

山武杉で作った組子を床に入れてアクリル板で覆い、歩行者が歩きながら組子のアートが見えるようにする。

- **バス停のフレットフォーム**

山武杉の木材でフレットフォームの屋根を制作する。屋根の天井を完全に遮断せず、日差しや雨・雪がある程度は自然に入るようにする。

- **バス停のベンチ**

舟の廃材、そのままの形をベンチにして、ベンチを設置する。

- **フェンス**

駅周辺に一のフェンスを設置する。

- **植樹**

ロータリーの中央部と入口に桜の木や藤を植える。

- **照明**

夜にも駅のことが楽しめるように、証明を設置する。

2. 駅前商家町

- **空き店舗を利用した「展示場」**

商店街の空き店舗を掃除し、常設の展示スペース作る。成東城の歴史、伊藤左千夫などの偉人、食虫植物、町の水路を利用した生活、山武杉の廃材を利用した日用品など、成東の資源について展示を行う。人びとが地域の特産物をいつでも買えるように地域の野菜などを販売する。

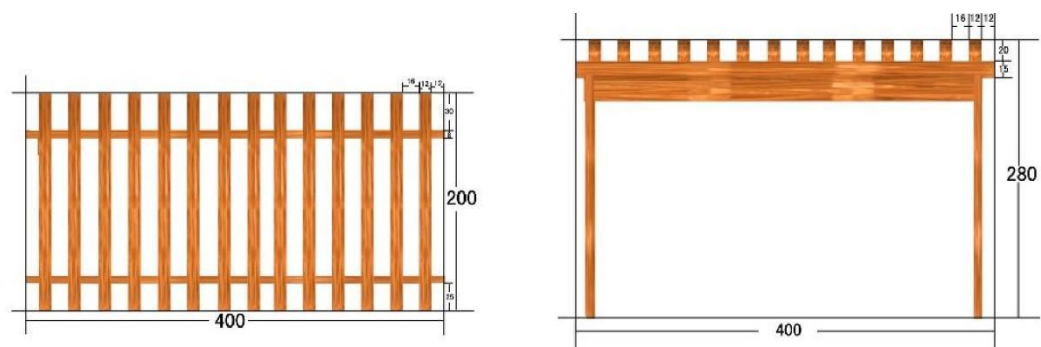
- **空きスペースを活用した「青空市場」**

山武市の海や田んぼ、山から取れる特産品を販売する市場を、商店街の空きスペースを利用して定期的に開く。山武市の住民をはじめ、外部の人々も出店できる。消費者が生活の場で、直接生産者の手から買うことで、道の駅では味わえない人々の生の生活を体感することができる。

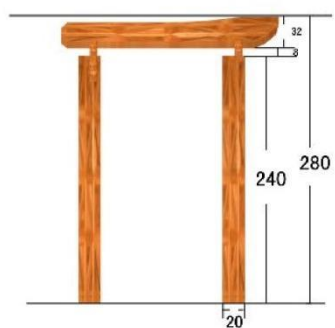
- 広告のために追加で工夫できること

- 高速道路から国道のほうに入る、T字路のところに「海と田んぼと山の駅ー成東」の看板を設置する
- ホームページを作成する など

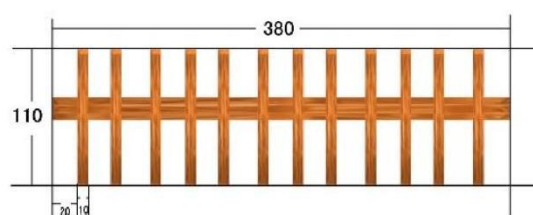
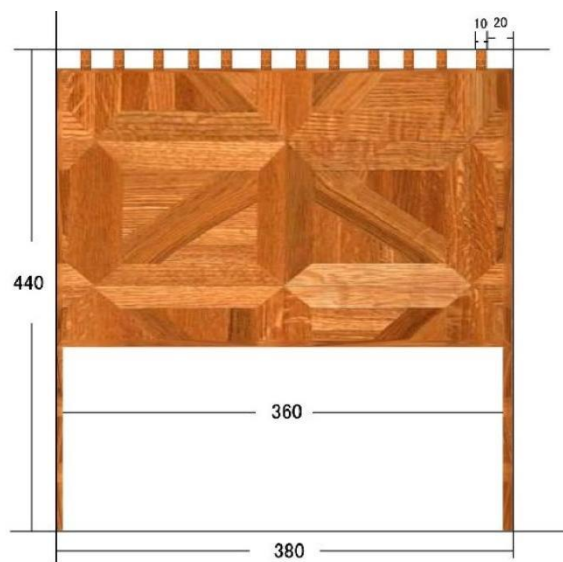
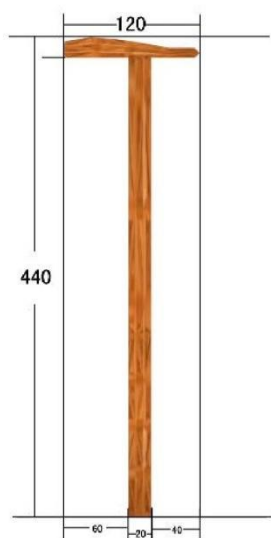
【設計図（バスシェルダー）】



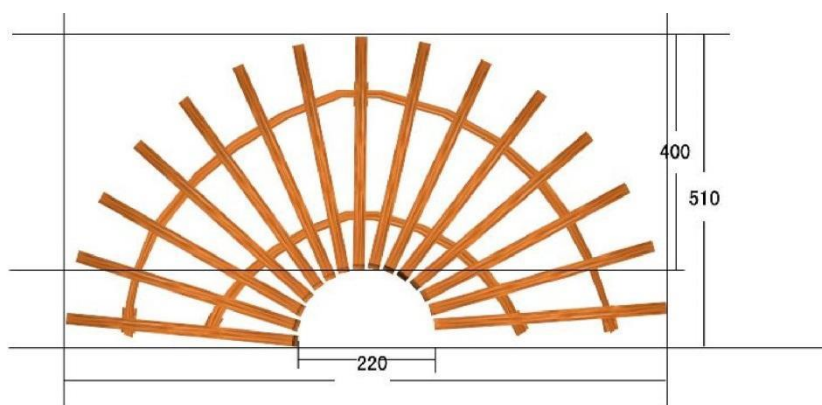
単位：c m



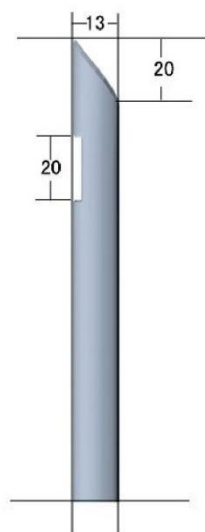
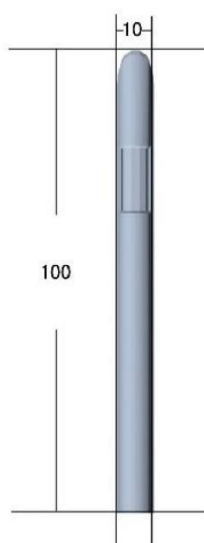
【設計図（案内板）】



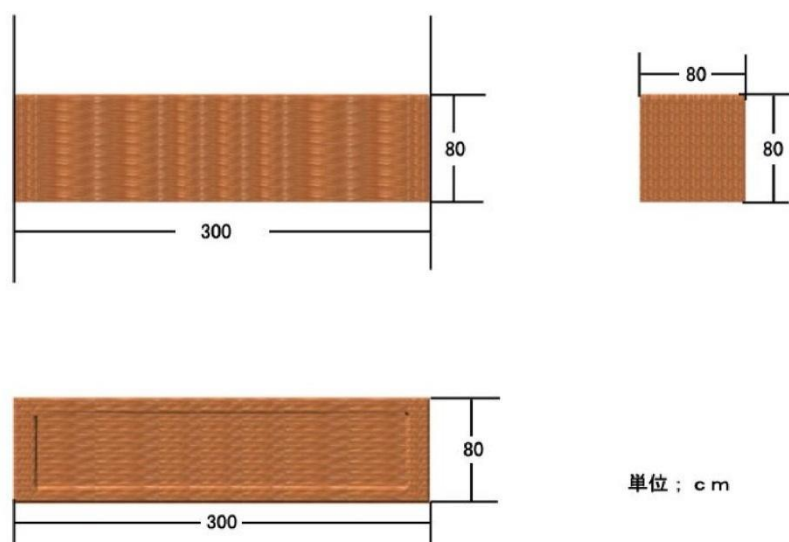
【設計図（休憩所）】



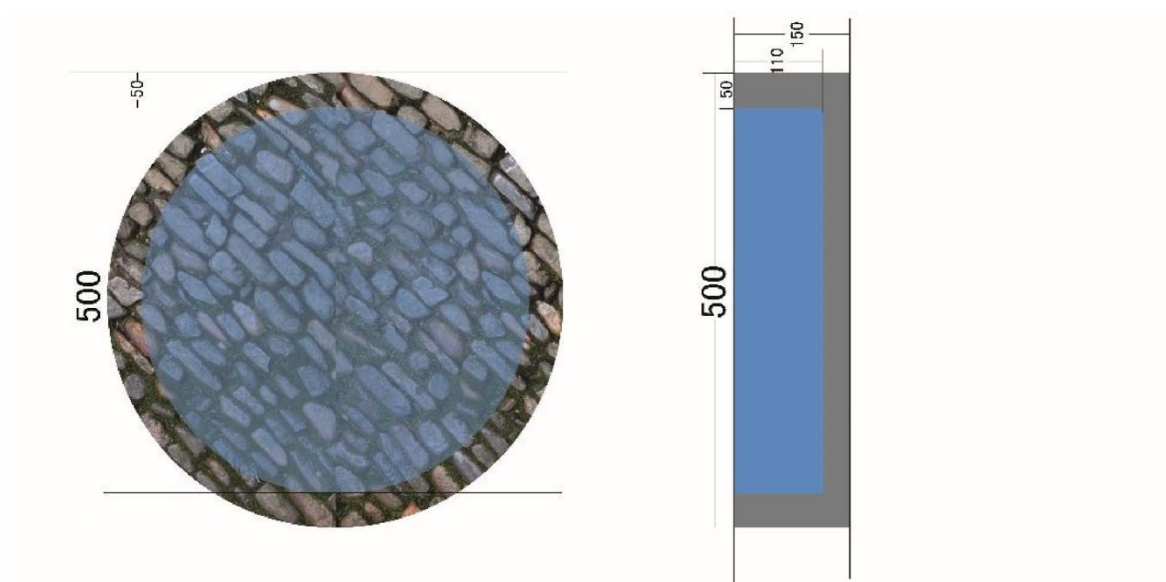
【設計図（照明灯）】



【設計図（植木鉢）】



【設計図（池）】



(工)提出作品 (高橋 咲さん)

【模型】



【説明文】

「さんむ」という家の玄関兼リビングとなる、成東駅前広場のためのストリートファニチャー
山武、成東駅に着いた時に感じる、どこか懐かしい安心感・雰囲気をもそのまま街に流し、そのほっとする空気と、山武杉のあたたかみによってできる落ち着ける空間を広場として提案します。

夕暮れどきがとても綺麗な作田川の形をモチーフにし、「流す」形を表現しました。

はじめて訪れる人も、帰ってくる人も、駅から次の行き先までのいっぶくができ、それがまちの風景の一つとなるようにと考えています。

このストリートファニチャーにできることは、待つ、休む、話す、出会う、宿る、遊ぶ、呑む、、など、多元性を持っています。

『このストリートファニチャーは、まちに新しい物語を生む。』

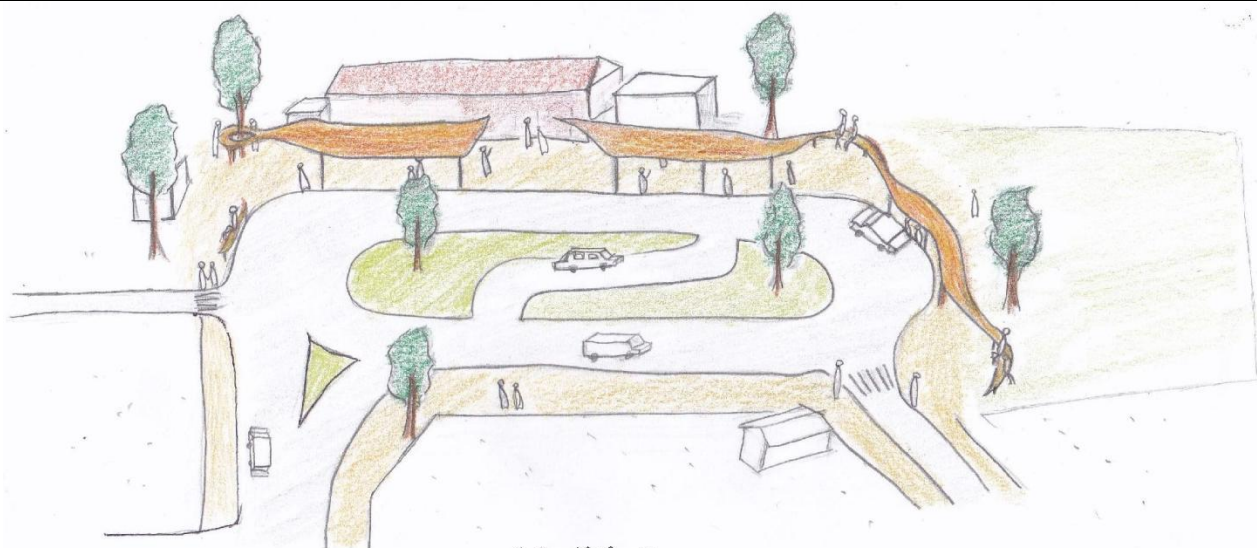
演目その 1 「待つ」 あらすじ…まだ新しい制服を見に包んだ成東高校の学生がベンチで最近できたクラスの友達と待ち合わせをしていた。待っていると、となりに座ってきたおばさんが話しかけてくる。「あったかいね」「そうですね」

演目その 2 「休む」 あらすじ…浪切不動への散歩がてら、和菓子屋「橋本」で買いたいちご大福をカウンターで食べていたら、隣にいた人に「どこで買ったの?」と聞かれた。これから、行ってみるそうだ。

こんな物語が生まれるかもしれない。

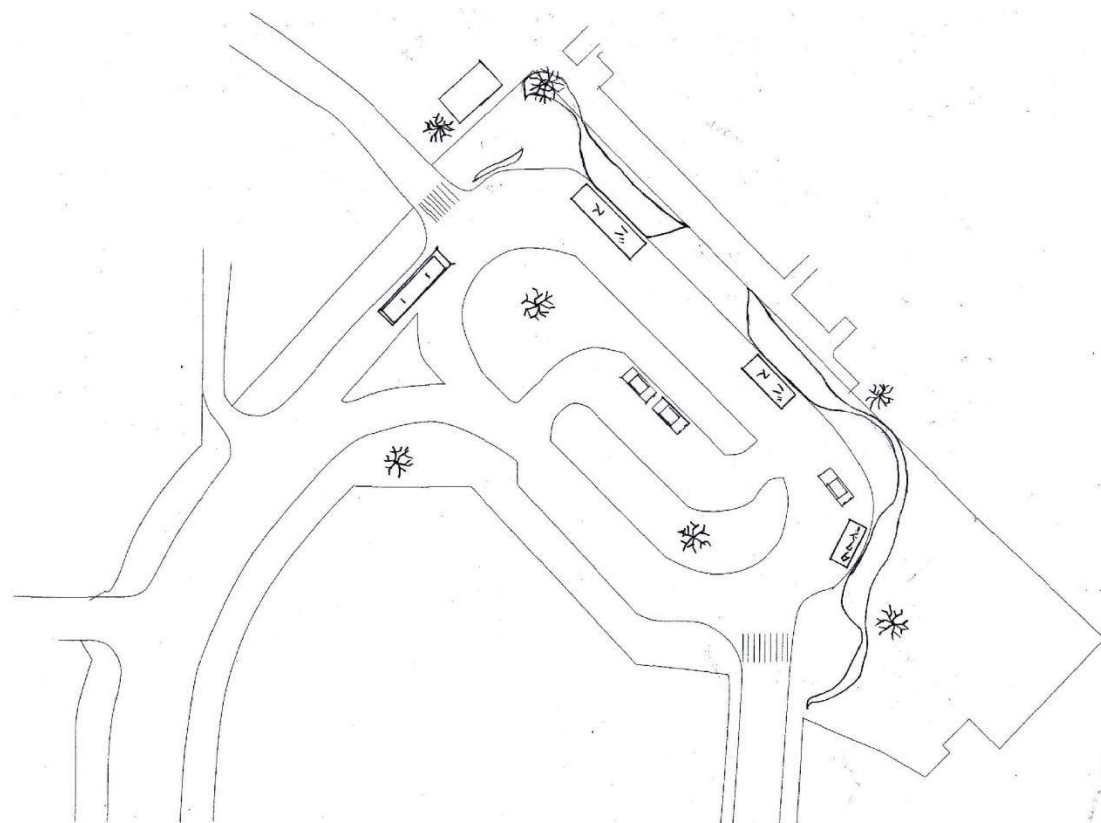
このストリートファニチャーは、このまちの舞台装置であって、名脇役でもある。また、まちを見守る観客でもある。きっとそのような存在のストリートファニチャーになるだろう。』

【イメージパース】



イメージパース

【敷地図】



(オ) 審査方法と結果

① 最優秀賞、優秀賞の選定方法

1. 審査員の対象	成東駅南側周辺まちづくり協議会の会員 (中谷コミュニケーション・ディレクター、齋藤バイス・コミュニケーション・ディレクターを除く)
2. 審査までの流れ	①参加者によるプレゼンテーションの実施及び質疑 ②協議会による意見交換の実施 ③審査(投票)の実施
3. 審査のポイント	成東駅南側周辺地区で目指すまちづくりの理念(テーマ)に適合しているもの。 ①造形的に美しく、周辺の街並みと調和して空間全体の魅力を高めるもの。 ②デザイン性に優れているもの。 ③独創性のあるもの。 ※1 今回のコンペは、成東駅前広場にふさわしいと思われるデザインを審査していただくことを目的としているため、実現性は審査の対象としておりません。 ※2 実現に向けては、テクニカルアドバイザー等のご協力をいただきながら、検討していくこととしております。
4. 審査(投票)方法	①投票用紙(AOサイズ)にシールを貼っていただきます。 ②駅前広場全体の考え方(コンセプト)のいずれかに1票投票してください。 ③各個別要素の応募作品に投票していただくか、今後要検討に投票してください。
5. 審査結果	①合計点の高い提案を最優秀賞とします。 ②次点となった場合でも、得点があった場合には優秀賞とします。

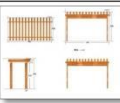
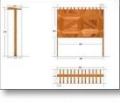
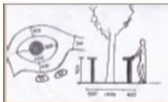
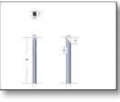
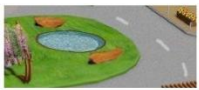
【投票の様子】



② 選定結果

投票の結果、最も多い点数を獲得した、デザイン文化計画研究室の皆さん（張 曉静さん、金 主榮さん、張 夏さん、路 鵬さん）が最優秀賞を受賞しました。

【投票結果】

提案者		高橋 咲	デザイン文化計画研究室	今後要検討	配点	
駅前広場全体の考え方 (コンセプト)		「杉とリビングと」 	組子を利用した歩道デザイン 		2点	
		10票	9票			
個別要素	バス キャノピー	 	 		1点	
		9票	3票			
	案内板			 		5票
	7票					
	休憩所 加ソー	 	 			4票
		10票	3票			
	照明			 		7票
	2票					
植栽・ 植木鉢			 	7票		
2票						
池			 	6票		
8票						
ベンチ	 			4票		
	5票	3票				
点数	コンセプト	20点（10票）		18点（9票）		
	個別要素	24点		28点		
	合計	44点		46点		

【投票のなかで『今後要検討』と答えた方の意見】

種類	意見
駅前広場全体の考え方（コンセプト）	・とても良いと思うのですが下に敷いて欲しくない。 ・2提案を融合させたものが実はベストなのかな、と思う。
案内板	・案内板より案内所（人と人とのふれあい） ・掲示板はITを活用。単純な地図ではなく、位置情報やネット上の観光案内ページとのリンクが可能なものにしてはどうか。
休憩所 カウンター	・夏は日射しが強く雨の日は途中で雨宿りが出来ないので屋根として作った方が良くと思います。
照明	・照明についてはプレゼン内容不足により要再検討です。
植栽・植木鉢	・植樹は高さを考えないとダメです。又季節感も必要（建物の高さ決めるのに植樹は無しではおかしい） ・藤棚は不要？駅前の広々としたイメージを弱める。
池	・基本提案に池という項目があるのにまずびっくり。プレゼンでもその活用内容についての言及なし。よって再検討。 ・成東鉱泉で足湯にしてほしい。 ・メンテナンス（3～40年後古くなった時のことを考えた方がよい。池は清潔さ安全性が保たれるものを考える。浅いものや噴水など） ・池は不用？小さい池が入ってもチマチマした感じの方が強まる。 ・池は単に「在れば良い」とは思わない。提案されたものでは（機能、デザイン共に）必要ない。 ・池の配置は無い方が良くと思う。（管理や維持費用の面、安全性の面で！）

(カ)表彰式

③ 表彰式の様子



④ 表彰式を終えて

【テクノアドバイザー 植田憲教授（千葉大学工学部デザイン科学）のコメント】

今回のコンペで一番よかったと思うのは、私を含め、学生たちが皆様のところにお邪魔をさせていただいて、生活とは何なのか、その中でどういう造詣がこれまで生み出されたのかなど、様々なことを学ばせていただいた点だと思います。

これからも、地域の方々が元気に楽しく豊かな暮らしができ、かつそういう資源を媒介として外の人と連携できていくような取り組みを一緒にやらせていただければと思っています。



【椎名市長のコメント】

今日は高橋さん、それから張さんをはじめ4人の方々、準備に相当の時間がかかったと思いますが、ご参加いただいて本当にありがとうございました。

今回の発表の中で感じたことは、まちは1回作ればそれで終わりということではなく、生きているものだということです。

常に手を加え、私たちそこに住む人間と一緒にあってまちも成長し、もう一度息を吹き返して素晴らしい街並みになっていくのだと思います。

これからも頑張ってくださいと行政としてもまちづくりに励んでいきたいと思っていますので、引き続きお力添えをお願い申し上げて御礼といたしたいと思っています。ありがとうございました。



2. コンペ後に提案者が共同製作した模型

デザインコンペの終了後、千葉大学工学部デザイン科学の植田憲教授のご指導の下、コンペに応募いただいた、学生の皆様による駅前広場デザインの進展がなされました。進展に当たっては、協議会で議論した「駅前広場の基本方針」に加え、「街並み景観形成の配慮事項(案)」で建物の圧迫感の軽減や賑わいの演出に取り組んでいくことから、駅を出て広がる街並みが映えるよう意識していただきました。



提案者が共同製作した模型デザイン（南側から駅舎方向を撮影）



提案者が共同製作した模型デザイン
（東側から交通島方面を撮影）



協議会メンバーによる確認風景



提案者が共同製作した
模型デザイン（案内板）